



第 165 号

2021 年 11 月 5 日発行

T E L 0193 - 42 - 2111

F A X 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

「大槌高校シリーズ②」
(弓道部)

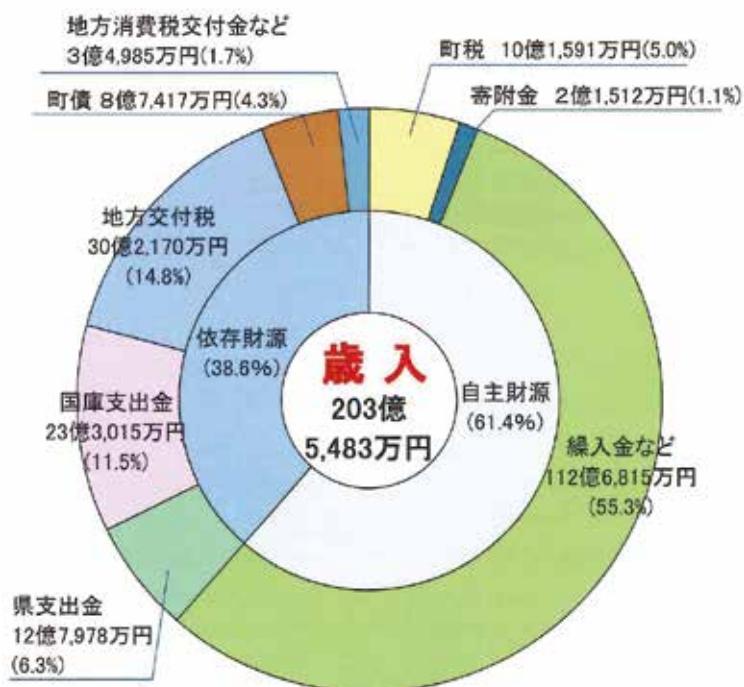


- 主な内容
- ・決算特別委員会の内容・・・・・・ 2~3
 - ・審議した議案・・・・・・・・ 4~5
 - ・一般質問の項目・・・・・・・・ 6
 - ・一般質問の内容・・・・・・・・ 7~12
 - ・委員会新委員の紹介・・・・・・・ 13

令和2年度決算を審議

新型コロナウイルス感染症対応に約15億円

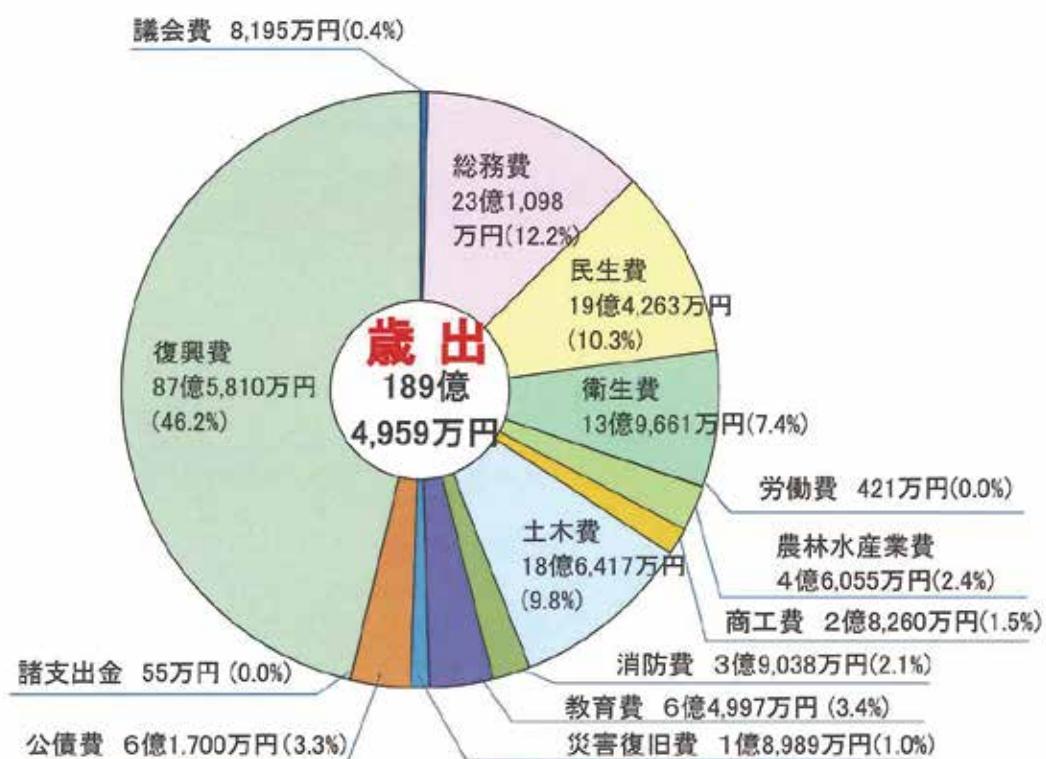
《一般会計決算の内訳》



◇ 決算特別委員会 — *

決算特別委員会は、9月9日から14までの日程で開催されました。委員長には菊池忠彦議員、副委員長には東梅康悦議員を選出し、本会議で付託された令和2年度一般会計歳入歳出決算など6会計について審査しました。

決算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、2年度の一般会計歳入歳出決算など6会計の決算は、いずれも原案のとおり認定となりました。以下、質疑の一部を紹介します。



決算特別委員会の内容

歳 入

策定する。

- ◎質疑：雑入の収入総額1億1800万円の中で仮設施設有効活用等事業助成金が6596万3780円とあるが助成金の内容は。
- ◎答弁：福幸きらり商店街の仮設店舗解体工事の除去費用である。

総務費

- ◎質疑：携帯電話等工リア整備事業費3655万5200円の事業の進捗状況を伺う。
- ◎答弁：2年度の事業は戸沢地区。通信事業者NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの施工で完了している。3年度は安瀬ノ沢地区を進めている。

- ◎質疑：大槌町のこれからメインになるもの（ギンザケ・トラウトサーモン）に対して、今後の方針、見通しを伺う。

- ◎質疑：大槌町定住支援ガイド制作委託料予算400万円に対し1%の決算額となつた理由は。
- ◎答弁：首都圏でのイベントが5、6回計画されていて、コロナの関係で全く開催されなかつたため。

農林水産業費

- ◎質疑：大槌町のこれからメインになるもの（ギンザケ・トラウトサーモン）に対して、今後の方針、見通しを伺う。

- ◎質疑：大槌・山田・紫波線道路整備促進期量は400トン。駅裏の利活用案の一つとして養魚場を検討している。
- ◎答弁：まだ6割しか換金されていない状況。使用期限を11月30日まで延長することとした。



- ◎質疑：地域の消防団員の定員管理、分団の再編をどのように考えているか。
- ◎答弁：消防団員が少なくなつていても条例数に変更がないため、充足率は徐々に低下している。消防力の対し要望を続けていく方針。

- ◎質疑：大槌町教育施設長寿命化計画策定業務委託料858万円について、どこの場所か伺う。

土木費

- ◎質疑：大槌・山田・紫波線道路整備促進期量は400トン。駅裏の利活用案の一つとして養魚場を検討している。
- ◎答弁：まだ6割しか換金されていない状況。使用期限を11月30日まで延長することとした。

- ◎質疑：大槌町の維持管理という点で、スクールバスが毎日通る道路の対応について伺う。

- ◎質疑：環境整備謝金として1団体に最大5万円を、昨年度は15の個人と団体にお願いしている。また、町内除草等維持管理業務委託料149万1424円については、シルバー人材センターに委託している。予算要求して増額した中で対応していきたいと考えている。

消防費

- ◎質疑：大槌町教育施設長寿命化計画策定業務委託料858万円について、どこの場所か伺う。

- ◎質疑：教育系の施設5施設である。町内各学園並びに給食センター、「OLLA」が対象となつてている。

令和3年9月定例会

一般質問に6議員が登壇



東梅委員

◇議案一*

《条例の改正》

◎大槌町町営住宅等

条例の一部改正：東日本大震災被災者の優遇を廃止、また一部の部屋について単身入居を可能とするため、所要の改正をしようとするものです。

（全員賛成・原案可決）

《計画の策定》

◎大槌町過疎地域持続的発展計画の策定

：過疎地域の持続的発展に関する特別措置法の施行に伴い大槌町過疎地域持続的発展計画を策定したものです。

（全員賛成・原案可決）

◎大槌町教育委員会の委員の任命に同意を求めることがあります。東梅広美氏を任命することに同意を求めることです。（全員賛成・原案同意）

◎復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正：東日本大震災復興特別法及び東日本大震災の被災者等に係る国税関係法律の臨時特例に関する法律、関係省令の改正があつたことにより、課税免除の適用期間等の関係条項について所の改正をするものであります。（全員賛成・原案可決）

◎大槌町定住促進住宅条例の一部改正：多様化する社会的ニーズへの対応や、定住人口拡大、労働力の確保など、地域課題の解決を図る施策の一環として、

令和3年9月定例会は、9月2日から9月15日までの14日間の会期で開催されました。今期定例会には、健全化判断比率の状況の報告、大槌町教育委員会の任命の同意、大槌町過疎地域持続的発展計画の策定、「大槌町地域防災計画」の変更に係る報告、3年度の各会計の補正予算及び2年度の各会計の歳入歳出決算等の認定など、報告4件、議案13件、認定6件、選任2件、発議案1件が提案されました。また、一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

大槌町定住促進住宅の活用を図るために、定住促進住宅条例の一部を改正するものであります。（全員賛成・原案可決）

《予算》

◎令和3年度大槌町一般会計補正予算（第4号）を定めること：

地域おこし協力隊支援事務局管理運営業務委託料、妊婦通院費、支援助成金、飲食店応援キヤンペーン事業、

大槌町協働地域づくり推進指針に基づき、公民館の指定管理者制度の導入を可能とするため、所要の改正をしようとするものであります。（全員賛成・原案可決）

◎令和3年度大槌町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）を定めること：高額療養費保険者負担金、高額外来年間合算療養費負担金などにより補正し、歳入歳出予算に1584万4千円を追加し、予算の総額を17億337万2千円とするものであります。（全員賛成・原案可決）

議会の動き

（8月）

19日・第7回全員協議会

27日・令和3年度岩手県への要望（釜石市）

30日・議会運営委員会

（9月）

2日・令和3年9月定例会（～15日）

9日・決算特別委員会（～14日）

10日・議会運営委員会

14日・総務教民常任委員会

15日・議会報編集特別委員会

22日・大槌稲荷神社例大祭

29日・産業建設常任委員会・釜石・大槌定住自立圏共生・ジョン懇談会（釜石市）

26日・第8回全員協議会

23日・花道プロジェクトコート完成感謝祭

26日・第8回全員協議会

・議会報編集特別委員会

・金石大槌地区行政事務組合10月定例会

28日・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会10月定例会

29日・大槌町斎苑神事・落成式

29日・政策提言町長手交

審議した議案

◎令和3年度大槌町
介護保険特別会計補正
予算（第1号）を定め
ること

（全員賛成・原案可決）

◆認定一*

◎令和2年度決算6件は、全て原案のとおり認定されました。

いません。実質公債費比率は13%です。

選任されました。

◆発議案一*

◎令和3年度大槌町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

（全員賛成・原案可決）

（契約の締結）

◎工事請負契約の締

（①一般会計歳入歳出決算）

（②国民健康保険特別会計歳入歳出決算）

（③介護保険特別会計歳入歳出決算）

（④後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）

（⑤水道事業会計決算）

（⑥下水道事業会計決算）

◎「大槌町地域防災計画」の変更に係る報告書：令和3年3月に変更された「岩手県地域防災計画」との整合を図ることを目的として変更した「大槌町地域防災計画」について、条例に基づき報告するものです。

◎コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書：新型コロナウイルス感染症の拡大は、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影响を及ぼしており、地方財政は、来年度も厳しい状況は継続するものと思われます。地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくには、地方税財源の充実が不可欠です。よって、コロナ禍による厳しい財政状況に対処するため、地方政府財源の充実を求めるよう国に意見書を提出するものであります。

◎令和3年度大槌町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を定めること

（全員賛成・原案可決）

◎町道の路線認定（全員賛成・原案可決）

◆報告一*

（①一般会計歳入歳出決算）
（②国民健康保険特別会計歳入歳出決算）
（③介護保険特別会計歳入歳出決算）
（④後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）
（⑤水道事業会計決算）
（⑥下水道事業会計決算）

◎工事請負変更契約の専決処分の報告：斎場火葬炉設備工事について、現場精査による数量変更により請負額に変更が生じたことから、専決処分したものであります。

◎健全化判断比率の状況の報告：令和2年度決算は各会計とも赤字及び資金不足はなく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は生じて

◎健全化判断比率の状況の報告：令和2年度決算は各会計とも赤字及び資金不足はなく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率が選任されました。

◆選任一*

（①一般会計歳入歳出決算）
（②国民健康保険特別会計歳入歳出決算）
（③介護保険特別会計歳入歳出決算）
（④後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）
（⑤水道事業会計決算）
（⑥下水道事業会計決算）

議席番号	議員氏名	9月定例会	
		9/2～9/15	
		出席	欠席
1	菊池 忠彦	5	0
2	白澤 良一	5	0
3	佐々木慶一	5	0
5	澤山美恵子	5	0
6	阿部 三平	5	0
7	東梅 守	5	0
8	阿部 俊作	5	0
9	東梅 康悦	4	1
10	欠員	—	—
11	金崎 悟朗	5	0
12	阿部 義正	5	0
13	芳賀 潤	5	0
14	小松 則明	5	0



現在の町方地区（おしゃっち周辺）

9月定例会一般質問の項目

1 澤山美恵子議員

P7

- ①産業振興について
- ②U I ターンの促進について
- ③防災について

2 阿部 俊作議員

P8

- ①通学路の安全点検について
- ②児童・生徒への生理用品の配布について
- ③防災について

3 日澤 良一議員

P9

- ①議会答弁に対する進捗状況について
- ②新型コロナウイルス対策について
- ③震災伝承の在り方について
- ④みんなでつくる連携と協働のまちづくりについて

4 菊池 忠彦議員

P10

- ①子どもの遊び場の必要性について
- ②新大槌八景について
- ③移住定住促進について

5 東梅 康悦議員

P11

- ①スポーツ振興について
- ②農業振興について

6 佐々木慶一議員

P12

- ①大槌のまつりについて
- ②地域と学校のつながりについて

※9月定例会の会議録は、11月下旬（予定）に町のホームページに掲載されます。

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437662.html>

※9月定例会のYouTubeへの配信について町のホームページに掲載しています。

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437526.html>

年間を通して生産できる体制づくりを

サーモンの次は農業振興施策へ



澤山美恵子議員



【答】(岡本産業振興課長)
今回の補正予算では新
産業の開発調査費を15
0万円ほど計上。日本酒

【答】(岡本産業振興課長)
区画整理区域の空き地
がたくさんあるので、活
用については最も頭を悩
ませている。空いている
から、ただ200万円と

【答】(岡本産業振興課長)
U-Iターンの促進につ
いて
【答】(北田副町長)

【答】(岡本産業振興課長)
サーモンの次は農業振
興施策をしていきたい。
漆を削るまでには長い年
月を要するので、地域と
話しあった上で研究した
い。また、駅裏でサーモ
ン養魚場と施設園芸を調
査研究している。

【答】(岡本産業振興課長)
U-Iターンの促進につ
いて
【答】(北田副町長)

【答】(岡本産業振興課長)
安渡分館・避難ホール
と小鎌地区多目的集会所
は、技術的基準を満たし
ているのではないかと考
えており、地域と協議を
行う。大槌高校は大槌学
園の体育館が定員を超
した際の避難所として開
放することを検討してい
る。赤浜分館・多目的
ホールと蕨打直集会所は
過去に土砂災害の発生し
た履歴があり、慎重な判
断が必要であるため、検
討作業を進めている。

【問】より幅広い分野の事
業者が参画できるように
すべきと考えるが。

【答】(岡本産業振興課長)
当初は町内事業者がつ
ながらるように検討してい
たが、他業種がくつつく
部分とくつつかない部分

【答】(岡本産業振興課長)
金沢では漆の木を植え
たいという話も聞いたが、
町独自で調査研究しては
いかがか。

【答】(岡本産業振興課長)
漆を削るまでには長い年
月を要するので、地域と
話しあった上で研究した
い。また、駅裏でサーモ
ン養魚場と施設園芸を調
査研究している。

【問】「土砂災害警戒区域
内であっても、技術的基
準を満たしている場合は、
指定避難所として開放す
ることを検討している」
との報告があった。どの
施設を検討しているのか。



おおつち地場産業活性化センター

【問】おおつち地場産業活性化センターの経済効果
は。

【答】(平野町長)
昨年度はサーモン事
業・ジビエ事業・加工品
の製造などを合わせて約
1億5千万円程度。

【問】年間を通して生産で
きる体制づくりについて、
町の気候や文化に適した
新しい農産物など研究し
てはどうか。

【答】(岡本産業振興課長)
金沢では漆の木を植え
たいという話も聞いたが、
町独自で調査研究しては
いかがか。

か300万円で売りま
しょうつていうような行
政をやるわけにはいかな
い。状況を見定めた上で
方向性を見出したい。

防災について

【問】「土砂災害警戒区域
内であっても、技術的基
準を満たしている場合は、
指定避難所として開放す
ることを検討している」
との報告があった。どの
施設を検討しているのか。



阿部俊作議員



通学路安全点検・安全対策は

ハードソフト両面協議し対応を図る

通学路の安全点検について

【問】全国一斉に文部科学省から通学路安全点検が指示されたが、当町の点検結果と今後の安全対策について尋ねる。

【答】（沼田教育長）特に注視した点検箇所は17箇所。ハード・ソフト両面協議し対応を図る。

【問】歩車分離信号機の設置の進捗はどうなっているのか。

【答】（杉田学務課長）追又の交差点は、県道であることから県に希望しているところで、警察



↓小鎌三陸道下町道照明 10月予定↑



【答】（那須環境整備課長）要望のあった安渡赤浜境界付近は設置した。

桜木町隣接三枚堂側のボックスカルバートの照明は、外から内に向けて設置する。

【答】（沼田教育長）児童・生徒への生理用品の配布について

【問】生理用品をトイレットペーパー感覚で使える社会は文化が高く、教育環境の支援につながると考えるがどうか。

【答】（沼田教育長）経済的要因で生理用品を購入できない児童生徒は確認できていない。仮にそのような児童生徒を確認した場合、就学支援制度に適用になるか確認する。

防災について

【答】（平野町長）避難所への誘導は、大槌町地域防災計画によりて定められた指定緊急避難所への避難経路が効率的かつ安全であることが重要。

【答】（沼田教育長）避難誘導看板設置計画することとしている。

【答】（沼田教育長）学校教育では、理科の学習で防災を学ぶ。

【答】（沼田教育長）当町の「ふるさと科」でも防災教育を取り上げ、避難所運営に携わった高校生たちも取り上げ学習を進めている。

【問】防災マップの活用について尋ねる。

【答】（平野町長）災害発生時に、主体的に判断し行動する態度の育成に努める。

議会質問の対応状況を公表すべきでは

今後協議していきたい



臼澤 良一 議員



議会答弁に対する進捗
状況について

【問】一般質問で調査、検討すると答弁した後の対応状況を報告すべきでは。

新型コロナウイルス対策について

【問】緊急支援事業の実績と検証は。

【問】障がい者福祉サービスに影響が出ないよう努めるべきでは。

【答】(平野町長)

現在まで廃業・倒産はない。スピード感と町内事業の連携による施策展開が重要であると認識している。

【答】(平野町長)

令和元年9月から本年3月定例会までの一般質問で「検討する」や「取り組みます」等と答弁した件数は約160件、「調査研究」等は約14件。行政報告等で議員に報告することで町民に発信できている。

【問】今年度の町内事業者の経営状況と施策展開の具体的な内容を伺う。

【答】(岡本産業振興課長)

資金借り入れがない状況。昨年度、ある程度資金確保している。産業振興課内で25事業を展開。飲食チケット等を販売している。

【問】広報誌等で公表すべきではないか。
今後協議していきたい。

【答】(藤原総務課長)

震災伝承の在り方について

【問】震災伝承プラットフォームの運営会議とワーキンググループの位置づけは。

【答】(平野町長)

本年度は3つの検討テーマごとにワーキンググループを設ける。運営会議はワーキンググループは

【答】(郷古協働まちづくり推進課長)

ワーキンググループに参加していただきたい。

【答】(郷古協働まちづくり推進課長)

支援員4名を配置し各種相談活動を行っている。地域の交流の場の土台を築いた。

ているが売れ行きが落ち込んでいるため、今後事業者と話し合いを進める。

【問】保管している被災展示物は何点か。また、記録映像を活用するというが、どのような内容で、どこで流すのか。

【答】(郷古協働まちづくり推進課長)

時計、はしご等6点。内容は被災状況や復興状況であり、おしゃべりで放映している。動画は二つある。



旧役場跡地の現況

【答】(郷古協働まちづくり推進課長)

旧庁舎と民宿跡地は伝承の場、鎮魂の森は慰霊・追悼・祈りの場として進める。



菊池忠彦議員



子どもの遊び場整備要望、その後の進捗状況は

今後も引き続き検討していく

子どもの遊び場の必要性について

【問】現在当町に整備されている街区公園は、子どもに限らず幅広い世代が利用できるように整備されている。昔の児童公園のように、子どもが思いつ切り歡声を上げて遊べるような環境ではないと感じるが、町の見解を伺う。

【答】(那須地域整備課長) 街区公園の一人当たりの面積等、また維持管理などを勘査しても、今のところは子ども児童公園を整備する予定はない。

【問】2019年8月、住民グループが子どもの遊

遊び場の整備についての要望書を提出しているが、その後の進捗状況を伺う。

【答】(郷古協働地域づくり推進課長) 町では、協働地域づくり推進課が中心となって、住民グループ「遊び場プロジェクト」の定期的な会合に直接参加して、今後の取組について意見交換をするなど、共に考え

ている。

途に利活用案をまとめることで、地域住民も資源の価値を再認識し、地域事業など、町の来年度以降の事業展開も見据えつつ整備時期などを検討することになるが、福幸きらり商店街跡地利用

については、三陸ジオパークとみちのく潮風トレイルによる連携事業、吉里吉里海岸海水浴場、新山高原ヒルクライムほか、震災ガイドや郷土芸能定期公演などを観光交流協会や諸団体と連携して取り組んでいる。

【答】(小笠原健康福祉課長) 普通分娩ができなくなっていることは、安心して産み育てる環境においてはネガティブな感があるが、医療・行政・関係機関が連携して出産される方々をお守りする取組は、移住定住促進の魅力の一につになると捉えている。今後も該当される方々の意見を聞きながら、制度の充実に努めていく。



町内の公園の注意書き看板

新大槌八景について

【問】景勝地の維持保全に

関して当町の認識、エコツーリズム実践の有無を伺う。

【答】(平野町長) 地域資源をエコツーリ

移住定住促進について

【問】岩手県立釜石病院の普通分娩がこの10月から休止することを受けて、遊び場の必要性について意見を述べ

ズムとして活用していくことは、地域住民も資源の価値を再認識し、地域が活性化されることから、観光施策として重要な視点であると認識している。

町では妊婦通院費支援助成を行うが、この措置は移住定住促進にも少なからず影響があるものと懸念している。当局の見解は。

各運動施設の今後の活用は

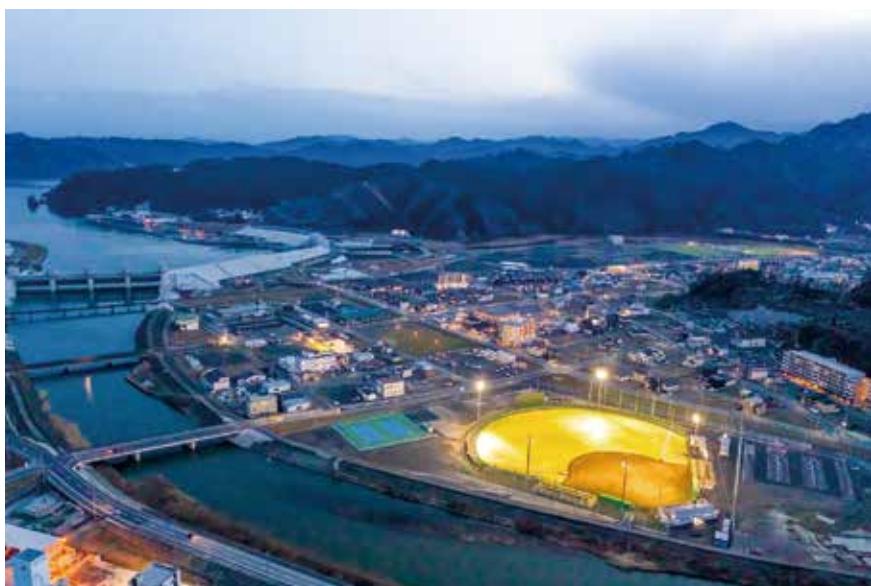
交流人口・地域振興につなげたい



東梅康悦議員



野球場とテニスコート



復旧整備された町営運動施設の野球場とテニスコート（手前）・サッカー場（右上）

スポーツ振興について

【問】東日本大震災から10年が経過し、町でも多くのスポーツ施設が整備された。現状の町内におけるスポーツの取組状況は。

【答】（沼田教育長）

町内のスポーツ少年団数は、平成20年度には27団体、527名であったが昨年度は14団体、154名となっている。社会人世代においては51団体から22団体に減少している。一方ではバスケットボールやバトミントンなど新たなサークル団体の活動もでてきた。

【問】各運動施設を今後のスポーツ振興にどう活用していくのか。

【答】（沼田教育長）

県や各市町村、各団体等で設立された「いわてスポーツコミッショն」を通じた積極的なPRなどで活用に取り組み、交流人口の拡大、地域振興の活性化につなげたい。

農業振興について

【問】今後どのようにして農業振興を図っていくのか。

【答】（平野町長）

県の農業普及員や農協による巡回指導等の強化や施設化の促進に向け補助事業等の周知を行っていく。新規作付者を確保するとともに農福連携やシルバー人材センターなど労力確保への取り組みを支援し、作付面積を拡大しやすい環境づくりを進めしていく。

【問】町の農業を取り巻く環境は、狭隘な土地での當農活動、生産者の高齢化、遊休農地の増加、二ホンジカの食害など多くの課題がある。これまでの町の振興策の効果をどのように捉えているか。

【答】（平野町長）

ピーマンでは高収益作物として農協を中心に関係機関と連携し産地化に向け各種施策を開拓し、収量、販売額及び新規就農者の増加など一定の成

【問】畜産では岩手県農業共済組合の獣医師減少により、町内畜産農家への影響もでているが。

【答】（平野町長）

このことは全県、あるいは全国的な課題であることから、生産者、議会、町が一体となり、また、近隣自治体とも連携しながら関係機関に要望活動を行うべきと考えている。

果があった。



佐々木慶一議員



大槌まつり開催に当たつての課題は

大槌のまつりについて

いものか。

【問】大槌まつりの開催可否や開催時期の設定は誰がいつ行うのか。

【答】(平野町長)

大槌まつりの企画・運営主体は大槌まつり実行委員会であり、開催可否や開催時期の決定は実行委員会で行っている。

【問】大槌まつりは神事の視点と観光資源としての視点があると思う。観光面で重要なのは外部PRであるが、まつりの時期決定が遅いためチラシを作るのも遅れるという状況があると聞く。まつり開催の早期決定はできな

分けは難しいが、町としては大槌まつりとして内外にPRする部分として関わっていく。

【答】(岡本産業振興課長) 実行委員会の中ではほとんどの委員は早めに決めたいと思っているが、決められない状況もあるため次回からは委員の構成も考慮しながら今後摸索していく。



【問】一方で神輿行列の在り方として、おまつり広場等の運営時間の関係から神輿前後に芸能団体等のお供がなくなることもあると聞く。本来のまつりの在り方としては改善していくべきではないか。



町の重要なシンボルのひょうたん島

【答】(岡本産業振興課長) 神事と観光面との切り

ので、イベントの内容を確認した上で資金面の協力提案をしていきたい。

【答】(杉田学務課長) 地域とのつながりは重要であり、軽視はしていない。ふるさと科を通じて地域との交流は図つている。

【問】地域の代表者が講師となつて子供たちの教育の場に入り込むだけではなく、地区PTAと地域とが直接連絡を取り合うことで交流の場を設け、地域で子供たちを育むという仕組みはできないか。

地域と学校のつながりについて

【答】(郷古協働地域づくり推進課長) ひょうたん島まつりをひょうたん島まつりをしていくべきではないか。

【答】(杉田学務課長) 町としては地区PTAと地域との橋渡しとなってそのつながりづくりに努めていく

【問】震災後の学校統合や少子化加速の影響で地域と子供たちの交流の機会が減少し、地域の活力が低下している印象がある。当局の認識と対応を伺う。

【答】(岡本産業振興課長)

町が町の文化財に指定し、町のシンボルの一つとして購入したものである。地域住民でまつりも開催しているこのひょうたん島を大槌町としてはどのように位置づけてい

【問】震災後の学校統合や少子化加速の影響で地域と子供たちの交流の機会が減少し、地域の活力が低下している印象がある。当局の認識と対応を伺う。

【答】(郷古協働地域づくり推進課長) ひょうたん島まつりを運用する資金が足りないということであれば、町のコミュニティーに関する様々なメニューがある

【答】(杉田学務課長) 町としては地区PTAと地域との橋渡しとなってそのつながりづくりに努めていく

委員会新委員の紹介

委員会新委員の紹介

現在、大槌町議会は議会運営委員会と、総務教民常任委員会・産業建設常任委員会の2つの常任委員会、議会報編集特別委員会・議会活性化特別委員会の2つの特別委員会を設置しています。

委員会は、地方自治法第109条の規定に基づき設置し、町議会の議員で構成されています。

常任委員会は、所管する事務についての専門的な審査や調査、また、町民等から提出された請願・陳情の審査や調査を行います。特別委員会は、特定の案件についての審査や調査を行うため必要に応じて設置します。

当初予算や決算を審査するときには、議員全員の特別委員会が設置されます。

9月定例会で選任された新委員を紹介します。

総務教民常任委員会

総務・税務会計・町民・健康福祉・教育の各分野に関する調査等を行います。

定例会と臨時会の会期や議案の取り扱いなどの議会運営に関する協議、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する審議を行います。

議会運営委員会

芳賀 潤 委員長
佐々木慶一 副委員長
白澤良一 委員
阿部俊作 委員
阿部義正 委員
小松則明 委員

阿部義正 委員長
阿部俊作 副委員長
菊池忠彦 委員
佐々木慶一 委員
金崎悟朗 委員
芳賀 潤 委員

産業振興・地域整備・農業委員会・水道事業等の各分野に関する調査等を行います。

産業建設常任委員会

菊池忠彦 委員長
澤山美恵子副委員長
阿部三平 委員
東梅守 委員
金崎悟朗 委員



町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていたら機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおチャンネル」、「Youtu.be」でも視聴いただけます。

- 12月定例会は12月3日(金)開会予定です
(予定は変更される場合があります)



表紙写真とタイトル



おおつち

表紙タイト
ルは、前号か
ら引き続き、
大槌高校3年
生の菊池華歩は年
さんの作品で
す。

表紙の写真は、10月
5日に大槌高校で撮影
した「弓道部」の生徒さ
んたちです。部員は、
現在10名（1年生5名、
2年生5名）とのことで、
この日は5名で活動し
ていました。

指導者の小川さんか
ら、弓道は高校から初
めても上達できる樂し
いスポーツであるとい
うことを伺いました。
大槌高校の強さは飾つ
てある賞状の数の多さ
で分かりますね。
伝統ある弓道部の皆
さんの今後の活躍を楽
しみにしています。



編集後記

▼新型コロナウイルス感染者が国内で確認されてから2年程が経過してワクチン接種が実施され、感染者は減少し行動制限が緩和されましたが多大な影響を被っております。新政権の下、一日も早い終息を願うものであります。議会は震災復興後の諸課題について政策提言を行い、町民の生活環境向上に努めております。皆さんに支えられ耳を傾けながら、我がまちの歴史文化等を後々の時代に受け継ぐためにも当局と議会が切磋琢磨しつつ両輪のごとく、新型コロナ禍後を見据え町民とともに歩んでまいります。老若男女問わず、持続可能な住みよいまちづくりに向けて取組を進めていきたいと思います。

（阿部三平）

議会報編集特別委員会	
委員長	阿部 俊作
副委員長	菊池 忠彦
委員	阿部 義正
委員	阿部 三平
佐々木慶一	